



令和4年度 神奈川県立多摩高等学校 第4回学校運営協議会議事録

日 時：令和4年12月22日（木） 15:45～17:00

場 所：多摩高等学校 会議室

出席者：学校運営協議会委員4名（代理出席含む）欠席1名

校長、副校長、教頭、事務長、各 GL

1 開会

校長挨拶

- ・大学教授複数名による講義・講演の実施
- ・さくらサイエンスプログラムの実施
- ・台湾国立新竹高級中学との姉妹校締結

2 協議

a アドミッションポリシーの見直しについて

下記下線部の訂正について確認した。

- 自らを向上させ、目標を達成しようという意欲のある生徒
- 中学校における学習を基盤として、教科に関する知識及び技能や思考力・判断力・表現力等を身に付けるために努力できる生徒
- 問題の解決に向けて、習得した知識・技能や創造力等を教科横断的に活用して、探究活動に積極的に取り組める生徒
- 他者との対話を大切にし、自他の個性を認め、協働して物事に取り組める生徒
- 国際的な視野を広げ、自分の能力を高めようという意欲のある生徒

b 令和4年度学校評価中間報告（各 GL）

（学校経営推進グループ）

- ・文科指定事業のさらなる活性化に向け、SSH メラーボ部を発足させた。
- ・外部機関との連携事業の一環として「つくば研修」を実施した。
- ・台湾国立新竹高級中学との正式な姉妹校交流協定締結
- ・学校説明会は申込者増に対して、回数を増やすなどして対応した。

（学事グループ）

- ・1人1台端末に係る副教材のデジタル化を検討中である。
- ・夏期講習受講者数は昨年比減であるが、生徒の満足度は高かった。

（キャリアガイダンスグループ）

- ・1年生「知の探訪」を三カ所で実施した。
- ・面接指導も4回実施し、ビデオ撮影を行い、フィードバックに活かした。

（生徒支援グループ）

- ・近隣苦情は減少したが、自転車通学のマナーについては、引き続き指導が必要である。
- ・学校行事については、コロナの影響で制約を受けるものがあったが、実施できた。

(学校管理グループ)

- ・防災避難訓練はこれまでに1回実施。年度末に向けて地域と連携した訓練を計画中。
- ・職員会議資料を事前にメール配信し、ペーパーレス化に努めた。

(企画会議)

- ・敷地整備工事は多少の工期の遅れはあったが、完成・引き渡しまであと少しである。
- ・事故不祥事の未然防止に努め、いまのところ大きな問題は発生していない。

c 令和4年度学校評価中間報告・質疑応答及び令和5年度に向けた意見聴取

(同窓会長代理)

- ・1人1台パソコン関係等で県から何か支援はあったのか。→ICT支援員が配属された。
- ・副教材デジタル化の進捗状況は？→高価でコストに見合うかどうかも検討中である。
- ・台湾の国民豊かさ指数は日本を上回っている。台湾の英語教育についてはどうか？
→経済事情にもよるが、総じて台湾の英語教育や高校生の英語力は日本より高いと感じる。

(学識者)

- ・自転車指導の具体は？→立番指導やHR、集会での注意喚起を実施。スケアードストレートも検討する。
- ・いまや「部活と行事だけの多摩」ではないと感じる。国際に対する取組も充実してきている。全体の底上げをどのように図っているのか。→先端を伸ばすことが底上げにつながる。

(町内会長)

- ・目標が達成されつつある。SSHメラーゴ部発足や外部機関との連携は指定事業の活性化にも繋がる。敷地工事も事故なく安全に行われて安心している。

(PTA会長)

- ・デジタル化をさらに進めて欲しい。昨年に比べ、台湾等も含めて生徒実践の場が増えたのは喜ばしい。自分たちがやりたいことができている印象を受ける。
- ・自転車点検は保護者への周知が深まった。自転車マナーの向上を望む。

3 その他

次回の開催について

- ・令和5年3月 令和4年度最終評価と次年度に向けた意見聴取→日程は後日周知する。

4 閉会